

平成29年度 千葉市大学市長賞受賞者一覧

別紙

大学・短期大学名	(フリガナ) 候補者	推薦理由概要
	学部・学科	
植草学園大学	(コンドウ サトミ) 近藤 里美	大学1年から4年間、千葉市主催の「こどものまちCBT」にボランティアとして参加し、こどもの仕事体験サポートを行った。また、NPO法人「てらこやちば」のメンバーとしても地域共育活動を通して子ども達が楽しく夢を持って生活していけるよう貢献した。 学内では学業によく取り組み、成績上位者であるとともに、朗らかで誰からも信頼される人柄である。
	発達教育学部・発達支援教育学科	
神田外語大学	(キムラ アオイ) 木村 葵	大学公認課外活動団体HelloTimeの代表として、千葉市内の小学校の英語教育活動に継続的に従事、貢献した。 学業においても、中高英語教育職員免許状、小学校教諭免許を取得予定であり、専攻言語の取得と実践に注力した。 学内外における英語教育活動では後輩の指導役として模範となった。
	外国語学部・英米語学科	
敬愛大学	(ミヤハラ ユリカ) 宮原 百合香	地域連携のボランティアに積極的に参加し、特に「稲毛夜灯」への協力には、他の学生参加を牽引してきた。 入学以来、教職への高い志しを持ち、教員に望まれる資質・能力を確実に身に付け、卒業後も千葉市小学校教員への採用も決まっている。また、明るく爽やかに周囲をあたためる雰囲気させる人柄である。
	国際学部・こども教育学科	
淑徳大学	(ツカダ レイコ) 塚田 怜子	1年次よりボランティア講座を履修し、千葉市内の小児科入院患児へのボランティアに携わるなど、社会貢献活動を行ってきた。 看護学科の中でも上位5%の優秀な成績を修めた学生であり、看護学実習では近隣の複数施設において看護を学ぶとともに、千葉市内で看護師として活躍することの意義を見出している。研究では小児看護学を専攻し、千葉市内で人工透析を行う患児との関わりから、その看護のあり方について、真摯な姿勢で粘り強く探究している。
	看護学部・看護学科	
千葉経済大学	(コシカワ リュウジ) 越川 竜次	2年生から4年生まで一貫して、まちづくりゼミの一員として西千葉「ゆりの木商店街」の活性化に貢献した。例えば、ゆりの木商店街が毎月行う地域の環境美化活動に約3年間、毎回参加した。3年次には稲毛区内のVAICコミュニティケア研究所主催の「こどもカフェ」のボランティアスタッフとして活動した。千葉の親子三代夏祭りにも参加し、ごみ分別ナビゲートの役割を果たした。4年次には、稲毛区内の子ども食堂「とどろきっこ食堂」に参加した。また、市職員が主催する手話サークル「みなとて」に参加した。地域密着型サッカークラブ「コラソン千葉」に所属すること子どもたちが稲毛区内の地域清掃ボランティアを実施する際にも、ボランティア同好会を代表して参加した。 学業成績も優秀であり、勉学の態度はまじめである。以上のまちづくり活動により、学内外においてボランティア精神を高く評価する声が強く、商店街や地域コミュニティにおいても信頼を得ている。
	経済学部・経済学科	
千葉県立保健医療大学		推選なし
千葉工業大学	(オオタキ ユウ) 大滝 優	2年次より、鉄道クラブ部長として部をとりまとめ、2017桜まつり（美浜区）や高洲コミュニティまつり、真砂コミュニティまつりほか様々な団体から依頼を受け、電車の出張運営を行い、市の活性化に貢献した。また、常日頃から向上心を持ち、率先して学内活動を行っており、成績も優秀で学業と課外活動を見事に両立し、本学の模範となるような学生である。
	工学部・電気電子情報工学科	

大学・短期大学名	(フリガナ) 候補者	推薦理由概要
	学部・学科	
国立大学法人 千葉大学	(ツヅキ ノリヒコ) 都築 則彦	2020年東京大会を盛り上げ、成功させるために、2014年に「学生団体 おりがみ」を創設した。団体代表として、地域住民参加型のパラスポーツイベント、ボランティア研修会等を、千葉市をはじめとした地方公共団体等を連携して企画運営することをつうじ、学生と市民が参加し、一緒に考え、行動する場を提供してきた。
	理学部・物理学科	
帝京平成大学	(キクチ ミズキ) 菊地 瑞希	「パラスポーツフェスタちば」に学生ボランティアリーダー役として積極的に関わったり、千葉ロッテマリーンズの学生スタッフとして活躍するなど、千葉市のまちづくり、活性化に大いに貢献した。学業では難関といわれる日本体育協会公認アスレティックトレーナー資格認定理論試験に合格するなど、優秀な成績を修めた。また、指導教員の地域貢献活動等にも学生リーダーとして積極的に参加し、後輩達の目標となっている。
	健康医療スポーツ学部・ 医療スポーツ学科	
東京情報大学	(タグチ トモキ) 田口 友暉	千葉と情報大学のヒト・モノ・コトを記憶するWebサイト「ちばActive!」の運用を担当した他、花見川区でのイベントで子ども達にITを教える「IT大学」の運用、若葉区での「こどものまち」の運用支援、千城台東小学校と四街道市吉岡小学校が連携した「四街道こどものまち」など、さまざまな地域活動において中心的な役割を果たした。個人としても「Code for Chiba」の活動に参加し、地域課題を解決するコンテスト「アーバンデータチャレンジ2017」にも学生とボランティア団体、企業を結びつけるサービスを提供した。卒業研究ではオープンデータを活用した千葉県の魅力可視化システムの開発に取組み、千葉情報発信に貢献している。学業にも熱心に取り組み、好成績を修めた。インターンシップにも積極的に取り組み、平成28年度の千葉県インターンシップフォーラムにて本学代表として体験を発表した。平成29年度にはキャリアアシスタントとして、後輩のキャリア教育にも熱心に取り組んだ。
	総合情報学部・総合情報学科	
放送大学	推選なし	
植草学園短期大学	(クボタ リサ) 久保田 里沙	大学主催の近隣の障害者を対象とした避難訓練に積極的に参加するとともに、市内の福祉施設における催し物への手伝いなどの活動に熱心に取り組んだ。また、高校時代の特別養護老人ホームの傾聴ボランティアの経験から介護福祉士を目指し、2年間の学生生活において努力を積み重ね、知識・技術を獲得し続け、2年間の成長には目覚ましいものが見られた。学業態度は真剣かつ熱心であり、学生生活における態度は常に明るく活発で学友からの信頼も厚い。学習意欲も高く、試験等では常に上位におり、実習においても施設から高い評価を得た。
	福祉学科	
千葉経済大学短期大学部	(コマガタ アオイ) 駒形 葵衣	「教職たまごプロジェクト」に積極的に参加し、市内の小中学校で子ども達に諸活動の楽しさを享受した。また、教員採用試験に採用となり、今までの経験を生かして教師として貢献できる人物である。また、向学心に富み、優れた学習成績を修めており、学内の様々な活動でリーダーシップを発揮し、他の学生の模範となっている。
	こども学科	
千葉明德短期大学	(イトウ ミヤコ) 伊藤 都	「おはなしライブ」という地域の親子を対象とする文化活動に参加し、まちづくりに寄与し、その体験からも積極的に学び続けた。成績も優秀で、保育園への就職も決まり、保育現場での今後の成長も期待される。また、温厚で安定している人柄で他の人に思いやりがあり、周囲からも信頼されている。
	保育創造学科	